

研究課題名：放射線災害における放射線被ばく相談に関する調査研究

研究責任者：宮城県対がん協会放射線課 八島幸子

1. 研究の対象

2011年に宮城県放射線技師会によって行われた、被ばく相談でのアンケート回答者の全90名を対象とする

2. 研究目的・方法

本研究は、東日本大震災福島第一原発事故発生後の2011年に、宮城県にて行われた診療放射線技師による放射線被ばく相談において、当時の被ばく相談に対するアンケート調査の連結不可能匿名化された既存資料を、後ろ向きに調査検討する。研究結果について誌上発表する。

研究期間:2018年10月1日から2021年9月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2011年に宮城県放射線技師会が委託を受け、宮城県にて福島第一原発事故による被ばく相談を、小児または胎児を有する親を対象に実施した。その被ばく相談終了後に、被ばく相談に対する実施方法の評価・意見・要望について相談者にアンケート調査を行った。アンケート調査は任意とし、調査用紙への記入をもって同意を得たものとした。また、アンケート調査においては無記名で、年齢・性別の記入は無しとした。

アンケート調査項目:理解の程度・相談時間・相談後の不安や満足度・感想と意見

アンケート調査データ:宮城県放射線技師会にて使用許可承認を取得

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてアンケート協力者さまもしくはアンケート協力者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもアンケート協力者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：宮城県対がん協会放射線課

E-mail: m.hosyasen@miyagi-taigan.or.jp